令和5年度 公益財団法人倉敷スポーツ公園 事業計画及び予算書

令和5年度公益財団法人倉敷スポーツ公園事業計画	 1
令和5年度公益財団法人倉敷スポーツ公園収支予算	 3

令和5年度 事業計画について

1. 事業運営方針

当財団は、岡山県倉敷スポーツ公園開園当初から管理運営を担い、平成 18 年度の指定管理者制度導入以降も一貫して公園管理を行っている。

令和5年度は、第5期指定管理期間の2年目として引き続き岡山県と締結 した指定管理者包括協定及び財団の5ヶ年事業計画に基づき、県民や地域住 民に親しまれ、誰もが安全・安心に利用できるよう適切な公園管理運営を行

また経営面においては、燃料費の高騰や円安の影響により物価高騰の中に あり、経営を取り巻く環境は厳しい状況ではあるが、公益性を重視しつつ、 安定的な収入の確保及び経費の節減に努める。

2. 公益目的事業

幅広い年齢層の県民が楽しめるスポーツ・レクレーション活動の拠点とし て、引き続き安全・安心に利用できるよう適切な管理に努めるとともに公園 諸施設の利用促進を図り、県民の福祉に寄与するための事業を行う。

また児童、生徒にさまざまな体験学習の場を提供し、社会貢献に寄与する よう努める。

<主な取組>

(1) 公園施設の管理運営事業

県民のスポーツ・レクレーション活動や健康づくりの拠点となるよう、
 一般利用はもとより、大会利用・イベント利用などの利用促進に努める。 キッチンカーの誘致や料金のキャッシュレス決済の導入などの新規事業に も積極的に取り組むとともに、マスカットスタジアムの利用については、 4年ぶりの開催となるプロ野球一軍公式戦をはじめ、女子ソフトボール IDリーグ戦や音楽イベント、成人式など野球以外の利用方法について、 提案及び営業活動に努める。

(2) スポーツ教室等開催事業

自主事業として、テニス教室をはじめとした各種スポーツ教室を開催し ているが、新たな競技のスポーツ教室を開催し、競技への関心を高めると ともに技術の向上を図る。

また、幅広い年齢層のスポーツライフを豊かにするため、子供から高齢 者まで誰でも楽しめるニュースポーツ教室を開催する。

「スポーツ教室〕

- ブレイクダンス教室
- ・ティーボール教室
- テニス教室
- 少年野球教室
- ・スカッシュ教室
- マインドフルネスヨガ教室
- リフレッシュヨガ教室リラックスヨガ教室
- ・ZUMBA 教室
- ピラティスマットワーク教室

(3) スポーツ大会等開催事業

各競技の一層の振興を図り、園内施設を活用して日頃の練習の成果を発表する機会を提供するため、各種スポーツ大会を開催し、技術の向上を図る。

「スポーツ大会]

マスカット杯軟式野球大会(年1回) フレンドリーテニス大会(年2回) 少年サッカー大会(年1回) スカッシュ大会(年1回) 車いすテニス大会 国際交流スポーツ大会

(4) 野球競技活性化事業

プロ野球の試合を1試合でも多く誘致するため、県内の行政機関や経済 団体等と組織する「岡山にプロ野球を誘致する会」等と連携して、誘致活動を行い、県民にプロ野球を観戦する機会を提供する。

また、プロ野球開催に当たっては、県内の野球少年達を試合に招待し、 野球競技の普及、技能向上等を図る。

3. 収益事業

野球場内の広告スペースを県から借り受け、企業等の広告掲出事業を実施し、公益事業の円滑な実施に役立てているが、引き続き広告代理店と連携して企業等への働きかけを行い、一層の有効活用、収入確保に努める。

4. 財団の運営

倉敷スポーツ公園の第5期指定管理者として、引き続きコンプライアンスの遵守及び利用者サービスの向上に努め、適切な組織運営を行うとともに理事会、評議員会等の活性化を図り、より地域に根差し開かれた組織となるよう努める。

基本財産等の運用については、確実で安定的な運用に努める。

令和5年度 収支予算について

収支予算書(正味財産増減計算書ベース) 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度当初予算額	増減	(<u>単位:十円)</u> 備考
I	」 分子供	中区二切了异创	≠目 //队	岬 万
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	26, 530	24, 078	2, 452	
基本財産受取利息	26, 530	·	2, 452	
特定資産運用益	540	540	0	
特定資產受取利息	540	540	0	
事業収益	99, 455	94, 545	4, 910	
施設利用料等収益	80, 000		6, 022	
広告事業収益	13, 734		Δ 1, 112	
受取会費	4, 521	4, 521	0	
自主事業収益	1, 200		0	
委託料等収益	174, 070	164, 021	10, 049	
岡山県管理運営費	174, 070	·	10, 049	
雑収益	304	304	0	
受取利息	304	304	0	
経常収益計	300, 899	283, 488	17, 411	
(2)経常費用	300, 300	200, 100	.,,	
事業費	315, 895	296, 345	19, 550	
2 投員報酬	7, 560	7, 533	27	
給料手当	60, 432	66, 501	△ 6,069	
共済費	793	1, 104	△ 311	
臨時雇賃金	4, 900	4, 900	0	
福利厚生費	12, 725	13, 698	△ 973	
報償費	3, 500	3, 500	0	
旅費交通費	700	700	0	
光熱水費	66, 300	47, 660	18, 640	
需用費	10, 100	10, 100	0	
広告宣伝費	470	470	0	
修繕費	30, 409	20, 360	10, 049	
委託料	100, 758		1, 036	
保険料	880	880	0	
通信運搬費	2, 500	2, 500	0	
手数料	412	412	0	
使用料、賃借料	760	760	0	
負担金	588	588	0	
消耗什器備品	1,000	1, 000	0	
租税公課	5, 850	7, 326	△ 1,476	
減価償却費	100	100	0	
賞与引当金繰入額	3, 917	4, 615	△ 698	
退職給付費用	1, 241	1, 916	△ 675	

科目	 予算額	前年度当初予算額	増減	(<u>単位:十円)</u> 備考
管理費	7, 413	7, 301	112	Min - 3
役員報酬	3, 720	3, 712	8	
給料手当	863	1, 050	△ 187	
共済費	23	24	Δ 1	
福利厚生費	536	562	△ 26	
報償費	494	494	0	
旅費交通費	20	20	0	
光熱水費	1, 200	840	360	
需用費	50	50	0	
保険料	170	170	0	
使用料、賃借料	30	30	0	
負担金	125	125	0	
消耗什器備品	0	0	0	
租税公課	40	40	0	
減価償却費	50	50	0	
賞与引当金繰入額	78	84	Δ 6	
退職給付費用	14	50	△ 36	
経常費用計	323, 308	303, 646	19, 662	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 22, 409	△ 20, 158	△ 2, 251	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	Δ 22, 409	△ 20, 158	Δ 2, 251	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
寄附金	1, 000	1, 000	0	
経常外費用計	1, 000	1, 000	0	
当期経常外増減額	Δ 1,000	Δ 1,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 23, 409	△ 21, 158	△ 2, 251	
一般正味財産期首残高	278, 515		15, 310	
一般正味財産期末残高	255, 106	242, 047	13, 059	
Ⅱ.指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	1, 330, 474		12, 024	
指定正味財産期末残高	1, 330, 474		12, 024	
Ⅲ. 正味財産期末残高	1, 585, 580	1, 560, 497	25, 083	